

2010年11月22日

「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクト 新城南工場で第2期植樹祭を開催

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は11月6日（土）、乗用車およびライトトラック用タイヤ生産拠点である新城南工場（愛知県新城市）で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの第2期植樹祭を開催した。

当日は横浜ゴム従業員やその家族に加え、行政関係者や地元の小中学生およそ200名にもご参加いただき、合計510名で2,649本を植樹した。「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトは「自前の杜づくり」のコンセプトに則り、第2期からは従業員が育てた苗木を活用しており、今回も自前の苗木を100%使用した。また、植樹活動以外にも従業員が育てた苗木を行政や学校、団体、他の企業などに寄贈することにより、広く社会に対し地球環境保全の重要性を訴えている。

「YOKOHAMA 千年の杜」は横浜ゴム創業100周年の2017年に向けて、およそ10年かけて国内外の全生産拠点に杜を創生するプロジェクトで2007年にスタートした。宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の指導の下、潜在自然植生に則った植樹活動を進め、国内7生産拠点^{※1}と海外グループ会社の11生産拠点^{※2}で約50万本を植樹する。国内は平塚製造所で第4期、尾道、三重、長野、茨城工場で第3期、三島、平塚東、新城南工場で第2期を完了。海外は1拠点で第3期、4拠点で第2期、1拠点で第1期を完了している。現在までに国内外あわせて目標50万本の34%にあたる約17万本を植樹している。

※1：平塚東工場、中原工場は平塚製造所に含まれ1拠点とする。新城南工場は新城工場に含まれ1拠点とする。

※2：中国の3グループ会社は合同開催で1拠点とする。



植樹の様子



参加者による集合写真



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「ecoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：木下
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570